

市川市議会では、年4回の各定例会で、会派の代表が会派独自の立場から、市長提出議案等その他市政全般について質問をする代表質問を行います。6・9・12月定例会の代表質問における各会派の質問時間は、原則3日間の総質問時間を、会派の所属人数に応じて割り振って決定します。質問は総括質問者が登壇して行う他、補足質問者を立てることができます。ここでは、代表質問のうち、会派が指定した項目の主な内容を掲載しました。

代表質問



肢体不自由児特別支援学級がある市立妙典小学校

日本共産党

桜井 雅人 高坂 進
金子 貞作 清水みな子
廣田 徳子

使用料の引き上げ

問 市は平成27年度に公共施設の使用料を引き上げたが、第二次基本計画の中では「市民との協働」を掲げており、引き上げは市民活動の活性化に逆行していると考えられる。協働あるいは市民活動の活性化との整合性について市の認識を問う。

答 使用料の改正は、施設の利用における市民活動の支援と施設を利用しない市民との負担の公平性、この両者のバランスの観点から行っている。市民からは、今までの料金が安すぎたという意見や、予約で埋まっていた時間帯に空きができて利用しやすくなったという意見もあり、一概に使用料の改正が市民活動を抑制しているとは言えない。多様な利用者に利用機会が広がる等の側面もあり、整合

公共施設等総合管理計画

問 今後、人口減少や高齢化が進行する中で、市民ニーズの変化に合わせて公共施設の再編が必要とされている。そこで、公共施設等総合管理計画における施設別プログラムの策定は、どこまで進んでいるのか。また、公共施設等総合管理計画では公共施設を15年間で12万㎡削減するとされているが、施設別プログラムの課題はどのように認識しているか。

答 現在は、平成28年度にまとめた各施設の今後の方針や削減・管理手法に関する全体の方向性に基づき、個々の施設をどのように再編・整備していくか所管部署と調整を進めているところである。施設別プログラ

性は図られていると考える。



市川市公共施設等総合管理計画

無所属の会

越川 雅史 増田 好秀
長友 正徳 湯浅 止子
秋本のり子

肢体不自由児特別支援学級

問 市立妙典小学校は、肢体不自由児に特化した特別支援学級がある市内唯一の小学校である。設置後3年が経ち、現状と課題、及び

医療的ケアを必要とする肢体不自由児への今後の対応について、市の考えを問う。

答 妙典小の特別支援学級には、現在、児童3名が在籍し、県費負担の教員1名と市の補助教員1名を配置している。児童の特性に応じた自立活動の時間等も設

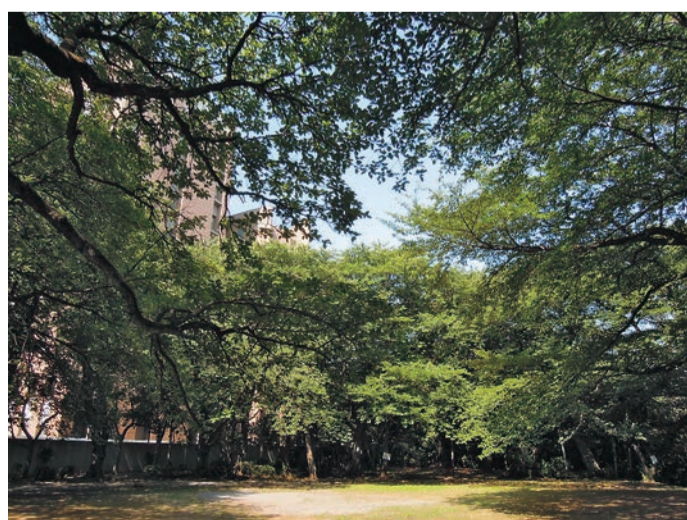
緑地の保全

問 超大型台風や、干ばつ、洪水等の甚大な災害をひき起こしている異常気象は、地球温暖化が原因といわれている。本市も地球温暖化

対策実行計画を実施しているが、計画における緑地の保全の推進に関する具体的な施策について問う。

答 緑地の保全は、二酸化炭素の吸収機能をはじめ、地球温暖化対策について考え、行動するための気づきの場

として重要であることから、都市緑地の公有化を図って施策として位置づけている。また、本計画は緑の保有者である「市川みどり会」と緑地保全に関する協定を結んでいる他、特別緑地保全地区の指定や、国府台緑地、国分川調節池等



里見公園分園のテニスコート建設予定地

テニスコート整備計画

問 北東部スポーツタウン基本構想では、国府台スポーツセンターのテニスコート6面を撤去し3面残す予定であったが、後にその3面も撤去する計画に変更された。そこで市は、新たに里見公園分園の桜の広場にテニスコート2面の整備を計画したが、地元住民等の反対を受け、当面保留すると発表した。保留の判断に至った経過と理由、及び現在考えている代替案について問う。また、恒久的な代替案ができるまで、当面の間、国府台スポーツセンターに2面だけでも残せないか。

答 平成29年度当初予算の議決後、地域自治会や市民団体等を対象に事業計画を説明する予定だったが、説明前に園内の桜の伐採に話題が集中してしまい、本来

の計画と異なる情報も錯綜する等混乱が生じていた。このような状況下で事業を進めることは市政運営上好ましくないと判断し、本計画を当面保留としたところである。計画保留中の暫定対応として、東京医科歯科大学と和洋女子大学から、学校活動に支障のない範囲でコートの貸し出しに協力する旨の回答を得ているが、学校という性質上、不特定多数者の出入りや授業中の対応等配慮すべき事項も多く、今後具体的な協議が必要となる。また、国府台スポーツセンターは施設率の他、駐車場不足も課題であるため、テニスコートは全廃し、駐車場等に転用する。